

学校 教育 目 標	豊かに学び 認め合い 咲かせよう 笑顔と満足の花 (知)基礎基本を身に付け、自ら問題を発見し、よりよく解決する力を育てます (徳)自他を大切にし、豊かな体験を通して他者とともによりよく生きる力を育てます (体)自ら健康を保持・増進し、心身ともにたくましく生きる力を育てます (公)自分の役割と働くことの意義を理解し、地域や社会のために他者と協働する力を育てます (関)自分を見つめ、多様性を尊重し、共生する力を育てます							
	創立	52 周年	学校長	今野 敏晴	副校長	角皆 裕文	2 学期制	一般学級：13

概要	児童生徒数：423 人	主な関係校：大正中学校、大正小学校、東俣野小学校
----	-------------	--------------------------

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
	ブロック	
〈自分づくりに関する力〉	大正中学校 大正小学校 小雀小学校 東俣野小学校	学習に向かう姿勢を身につけ、粘り強く学ぶ子ども
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」を目指した合同授業研究・協議会(年2回)</li> <li>・小中合同職員研修会の開催(年1回)小中一貫教育推進会議(年4回)相互評価の会(年4回)専任・特別支援コーディネーターによる情報交換、協議会(年4回)</li> <li>・児童・生徒ブロック会議を開催し、児童会と生徒会の交流を行うとともに、合同取組の推進、中学生による小学校訪問、児童生徒交流日での部活動体験</li> </ul>

中期 取組 目 標	<p>○子どもたちの夢や希望を育みながら、まちとともに歩む学校づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの子どもが学習の楽しさや達成感が味わえる授業づくりを推進し、学力の向上に努めます。</li> <li>・一人ひとりの子どもが安心できる居場所を保障し、自尊心を高めるとともに、互いの違いを認め、大切にし合う子どもを育てます。</li> <li>・まちの人とのつながりを大切に、豊かな体験を通して、自分の将来の姿や生き方を追求していく姿勢を育てます。</li> <li>・全教職員の協働意識を大切にしながら学校運営や教育課題に取り組む中で、教職員の資質・能力を高めていきます。</li> </ul>
--------------------	--

重点取組分野	具体的取組
自分づくり教育 基礎学力向上	①「キャリアパスポート」を通して、学習や活動の内容を記録し、自己の生き方や進路について真剣に考える環境づくりを行う。②前年度の生活意識調査や、前年度以降の学習状況調査のデータから、学習の実態を捉え、日々の授業実践や学級経営に活かす。③年4回、「チュンチュン漢字テスト」の日を設け、学校一斉のチャレンジテストに取り組むことで学力向上を図る。
児童生徒指導	①小雀小スタンダード等、全教職員が指導方針を共有し一貫性のある指導で規範意識の向上を図る。②問題の未然防止や早期発見・対応のため、児童支援専任を中心に迅速な情報共有と組織的対応を行う。また、カウンセラーやSSW、関係機関との連携を密にし、家庭への支援体制の充実を図る。③異学年交流を通して他者を大切にする心や協力する心を育て、集会にも縦割り班活動を取り入れ違いを認め合える人間関係を育成する。
教育課題対応	子どもたち一人ひとりに、個別に最適化された教育ICT環境を提供し創造性を高めていくことのできるGIGAスクール構想を実践していく。①一人ひとりに与えられた端末を適切に扱う指導を行う。②ICT機器や端末を教育活動の中で効果的に活用していくための実践例を教職員が共有して授業に取り入れる。③ロイノート、Gsuiteを効果的に活用し、保護者にも明確に伝わるように働きかける。以上の内容を継続していくことで学びの積み重ねを子どもたちの中に体現していく。
生きてはたらく知	①重点研究において「自分づくりに関する力」を育成を目指す。②教科の特質に応じて育成を目指す資質・能力を意識し、授業を通して教科等横断的な視点で本校らしい教育課程を編成する。③問題解決に向けての学び合いを大切にし、各教科のカリキュラムにのっとり基礎・基本の定着を目指す。
保健・安全管理	①小雀体操を通して身体づくりに取り組むとともに、感染症を予防する生活習慣の定着を図る。②一校一実践として、短縄跳びに力を入れ、なわとび週間でクラスで協力して運動に取り組み体力の向上を図る。さらに、状況を見て家庭や地域との連携も推進する。③交通安全教室、避難訓練を行う中で児童の危機管理意識を育て「自分の命を自分で守る」スキルを向上させる。
人権教育 特別支援教育	①研修や授業研究会を通して特別支援教育の理解を深め、すべての児童が安心して学習できるように、授業のユニバーサルデザイン化に継続して取り組む。②個別の指導計画や教育支援計画を作成し、校内委員会で適切かつ継続的な支援を検討し実施する。
公共心と社会参画	①学校行事や地域行事に一人ひとりが目標をもって主体的に参加できるようにし、社会や集団の中で自分の役割を意識して活動することで自己有用感を高める。②まちや社会とのつながりを大切にし、人との出会いを通して夢や希望をもてる自分づくり教育を推進する。
地域連携 学校運営協議会	①学校地域協働本部の連携体制を構築し、ボランティアとの協働を進めるとともに保護者や地域も参加できる日本漢字検定を校内で実施する。②ボランティアとの協働や児童の学びの様子を授業参観や学校だより・学校HPで発信する。③学校運営協議会準備委員会にて準備を進め、令和3年度中に学校運営協議会を設置する。
いじめへの対応	①月1回定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の迅速な対応と丁寧な経過確認を行うことで再発防止に努める。②いじめ防止研修を行い、全教職員のいじめに対する意識を高めるとともに、定期的な児童アンケートとYPの実施により些細な変化を見逃さない体制づくりを行う。
人材育成・組織運営 (働き方改革)	①メンターチーム研修にアドバイザーとしてミドルリーダーや主幹教諭等が関わる体制づくりを行う。②定期的に教務会や学年主任会を行い、ミドルリーダー等が学校全体に視野を広げ、見通しをもって学校運営に参画する場を設定する。③働き方改革委員会を設置し、アンケート集計等で要望を吸い上げ、働きやすい環境整備を進める。職員研修を行い、意識を高める。